

保護者による学校評価集計(R後期)

108 / 123 = 87.8%

	評 価 の 観 点	A	B	C	D	E	計	(A+B)/ (C+D)		R7前期 (A+B)/(C+D)
1	学校は、教育方針や教育活動の様子を分かりやすく伝えている。	54	48	3	1	2	108	96%	↓	99%
2	学校は、読み書き計算など基礎基本の定着に取り組んでいる。	53	47	3	2	3	108	95%	↓	98%
3	子どもたちは、学習やその他の活動に意欲的に取り組んでいる。	46	56	3	1	2	108	96%		95%
4	学校は、不審者対応や交通安全指導など安全管理への対応をとっている。	53	45	3	1	6	108	96%		98%
5	学校は、子どもの体力向上に取り組んでいる。	45	56	4	1	2	108	95%		93%
6	学校は、いじめなどの問題に適切に指導・対応している。	42	48	6	1	11	108	93%		93%
7	学校は、思いやり豊かな心を育む活動や教育を行っている。	45	52	6	1	4	108	93%		95%
8	学校は、本をたくさん読むように読書指導を行っている。	56	43	3	0	6	108	97%		97%
9	学校は、食育や歯磨きなど健康について具体的な指導を行っている。	42	58	1	1	6	108	98%		96%
10	学校は、地域の自然・人材・文化などを調べたり体験したりする学習活動を行っている。 (ふるさと七尾SDG s 教育を推進している)	53	49	2	1	3	108	97%		97%
11	家庭では、お子様との間でルールを決めている。 (家庭学習 テレビ インターネット ゲーム その他)	24	50	25	9	0	108	69%		68%
12	家庭では、規則正しい生活が送れるよう子どもに声かけをしている。	34	64	8	2	0	108	91%		91%
13	家庭では、家族同士のあいさつを心掛けている。	47	57	3	1	0	108	96%		94%

A: できている B: たいていできている C: あまりできていない D: できていない E: わからない

R7前期と比較し

- ・ 3P上昇 ↑
- ・ 3P下降 ↓

分析および今後の取り組み

・設問全体を通して、前期と比べてE評価が大幅に減った。また、3P以上の上下があった設問は2つだけであった。学校への評価が安定していると言えるのではないかと。

・学校に関する設問において、全てのD評価の1票は同じ保護者である。

設問2
2学期になり学習内容が難しくなってきたためか、C・D評価の割合が増えた。2学期の単元テストの集計からも、到達率が下がっていることが分かっている。3学期は学年末に向けて当該学年での学習内容の習熟を図る必要がある。(全体の内のA評価の割合はほぼ同じ。)

設問4
5月に行った交通安全教室と、その様子を学校日より学年日よりお知らせしたことが肯定的評価につながったと考えられる。

設問5
前期はE評価が11票と多かったが、後期は大きく減っている。東湊スポーツフェスティバル2025の様子を見て評価したと考えられる。

設問6
引き続き「E: わからない」の回答が10名を超えている。学校においてどのような指導をしているのか保護者には分かりにくいと思われる。道徳だよりのように、生徒指導だよりを配付することで、学校の方針や活動を周知することができると思われる。(お昼の放送でしていた「素敵な児童紹介」など)

設問11 設問12
家庭内のルールに関して肯定的評価の割合は69%であり、毎回低い評価となっている。設問11はA評価が全設問の中で最も少ない。家庭内でルールはあるのだが守れていないといった回答が複数あることから、家庭での児童の実態を評価したため肯定的評価が低くなっているのではないかと。設問として投げかけているのであれば、家庭でルールを決めて守る取り組みを学校から定期的に発信していくことも一つの手段と考えられる。